

平成31年度年間授業計画

教科科目		教科（工業） 科目(2年 実習) 単位数:【4単位】				
教科担当		工業技術科 2年2組 担当者 旋盤Ⅲ・MC:深谷 電気工事 飯島、 フライス盤・情報・電子 栗原				
使用教科書:		なし				
副教材等:		なし				
期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数	
一 学 期	4	【旋盤】（前期項目） ・各種精密測定器の使用法を復習する。 ・六尺旋盤の使用方法について学習する。 ・加工パターンの確認を行い、実際の加工図面に沿って加工演習を行う。	ノギス、マイクロメータを使った測定において読み取り誤差を減らす使用法を学ぶ。 実機を前にレバー、ハンドル類の機能と名称について確認素早く間違いのないハンドル操作について反復練習効率を追求した加工法を学ぶ。 連続作業における基準の設定について学ぶ。 高い精度の求め方を学ぶテーパ加工についてその要領を学ぶ、振り替えてからの基準の作り方を学ぶ。	実習態度・作品・報告書・出席状況等を総合的に判断し評価する	44	
	5					
	6	【MC】（後期項目） ・各種Gコードの特徴を学習し、基礎・基本的なプログラムを学習する。 ・NC工作機械の特徴について学習する。	数値制御の基本について学習し、プログラム作成及び修正の技術を習得する。 マシニングセンターの操作法を学ぶことで技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。			
	7					
二 学 期	9	【電気工事Ⅰ】（前期項目） 電気工事の基礎知識について学習する。	電気工事の基礎的な知識について 電気機器・配線器具並びに電気工事用の材料及び工具について学習し、電気工事の施工方法、一般用電気工作物の検査方法について作業し学習する。		56	
	10	【電気工事Ⅱ】（後期項目） 第2種電気工事士技能レベルについて学習する。	電気工事の発展的知識について 前期で行った電気工事Ⅰを発展させ、さらに専門的な電気機器・配線器具並びに電気工事用の材料及び工具について学習し、電気工事の施工方法、一般用電気工作物の検査方法について習得できるまで繰り返し作業し学習する。			
	11	【フライス盤】（前期項目） ・フライス盤作業の基本操作について学習する。 ・フライス盤作業の安全性について学習する。	フライス盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、その加工作業に意欲的に取り組む態度を身につける。 フライス盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての確に表現できる技量を身につける。 フライス盤作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した加工法を身につける。 フライス盤作業の基本操作についての正しい知識を持ち、加工法をよく理解する。			
	12	【情報・電子】（後期項目） ・プログラミングの基礎知識を学習する。 ・電子部品を用いた工作を行い配線やプログラミングの流し込み動作確認の学習をする。	・プログラミングの基礎的な学習を行い、課題に沿った動作を行うプログラムを作成する知識と技能を身につける。 ・汎用性の高い制御用マイコンボードArduinoを用いて、課題に沿った動作を行うプログラムと連動した電子工作を行う。			
三 学 期	1	○ 上記の6つの項目について、前期3項目・後期3項目を班ごとに学習していく。			40	
	2					
	3					
					140	